



ワールド・バリュー・アロケーション

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）

追加型投信/内外/株式

Amundi
Investment Solutions

2024年8月

Trust must be earned

ワールド・バリュー・アロケーションAコース（為替ヘッジあり）を「Aコース（為替ヘッジあり）」、ワールド・バリュー・アロケーションBコース（為替ヘッジなし）を「Bコース（為替ヘッジなし）」、また2ファンドを総称して「ワールド・バリュー・アロケーション」、「当ファンド」、「ファンド」という場合があります。

【ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド※】

嵐の晩に金は輝く ～不確実な時代に輝きを増す「金」～

ファースト・イーグル・インベストメンツの運用

※ワールド・バリュー・アロケーションの主要投資対象ファンド。以下、ファースト・イーグルAIFといえます。

資料の概要



- ① 足元の金相場
最高値圏にある金価格
- ② ファースト・イーグル・インベストメンツの金への注目
金は炭鉱のカナリア
- ③ 今後の金相場と当ファンドの運用
金価格が上昇する可能性

① 足元の金相場

- 足元、金（ゴールド）への注目が高まっています。これまで、金への注目は、経済危機、通貨への信認が揺らいだ時など、市場の不安定感が増す環境において高まりました。
- 市場最高値圏にある金高騰の背景には、2022年のロシアによるウクライナ侵攻や中東や中国における地政学的背景が悪化する中、不透明な時代における安全資産としての「金」への注目があると考えられます。2024年4月には、シリアのイラン大使館周辺がイスラエルによるとみられる攻撃を受け、イランとイスラエルの緊張が一気に高まりました。2024年6月末の金価格は、昨年末比12.8%上昇しています。
- また、各国の中央銀行がインフレ対策や有事への備えとして金を購入していることも、金価格を押し上げる要因になっており、2024年6月末現在、金価格はコロナ禍前の2019年末に比べ53.4%上昇し最高値圏となっています。

【金現物価格（1トロイオンス当たり）の推移】（期間：1996年8月末～2024年6月末、月次）



出所：ファースト・イーグル・インベストメンツのコメント等を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

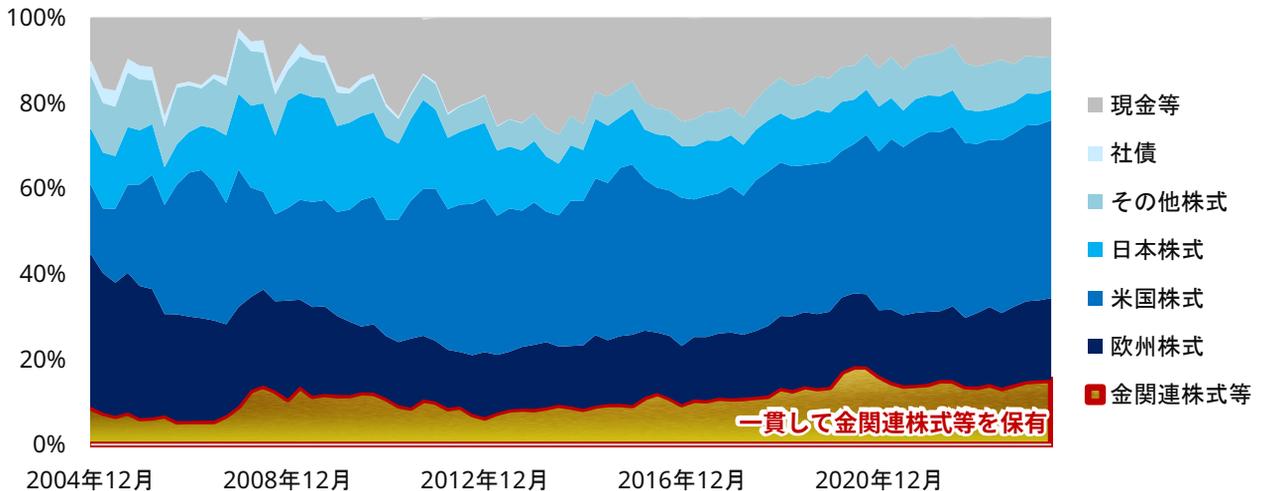
当資料のご使用に際しては、4ページの「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

② ファースト・イーグル・インベストメンツの金への注目

- ファースト・イーグル・インベストメンツは、「金は『炭鉱のカナリア*』の役割を果たし、資産全体に影響をおよぼす前に潜在的な危機を察知する」と考えています。
*昔、炭鉱労働者が危機管理のために人間より早く有毒ガス等の異常を察知するカナリアを坑道に連れて行ったことに由来。
- ワールド・バリュー・アロケーションの主要投資対象ファンドにおいては、2024年6月末時点で純資産総額の15.2%を金関連株式等（金ETCおよび金関連株式）に投資しています。
- 過去、市場の大きな変動局面では、金を保有することで良好なパフォーマンスにつながりました。特に、リーマン・ショックの際は、前年からの世界的な金融危機の中でウェイトを増やしていた金が底堅く推移し、資産の目減りを抑える役割を担いました。

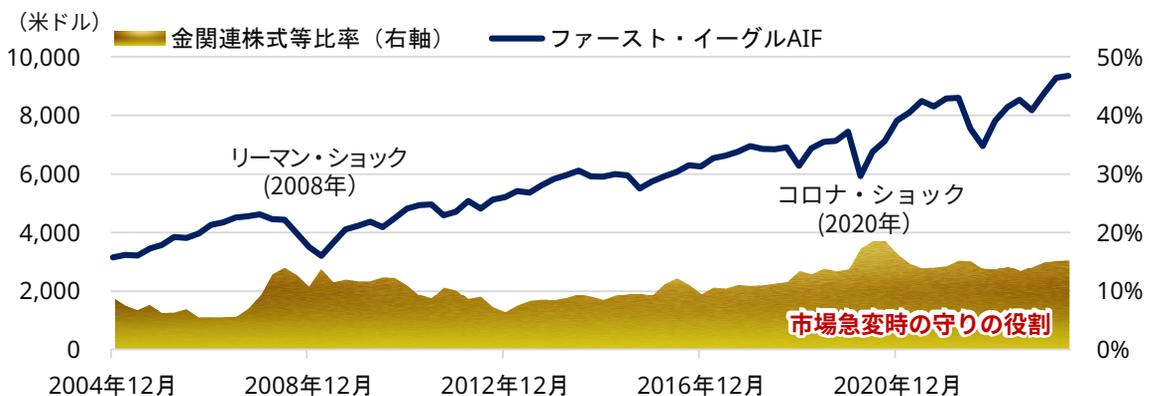
【ファースト・イーグルAIFの資産別割合の推移】

(期間：2004年12月末～2024年6月末、四半期)



【ファースト・イーグルAIFの推移と金関連株式等比率推移】

(期間：2004年12月末～2024年6月末、四半期)



出所：ファースト・イーグル・インベストメンツ、アムンディ・アセットマネジメントの情報を基に、アムンディ・ジャパン株式会社が作成。

上記は主要投資対象ファンドであるファースト・イーグルAIFの過去の実績であり、ワールド・バリュー・アロケーションの将来の運用成果等を保証するものではありません。過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

・比率は、ファースト・イーグルAIFの純資産総額に対する評価金額の割合です。・金ETCは金関連株式等に含まれます。

・現金等には短期国債等を含む場合があります。

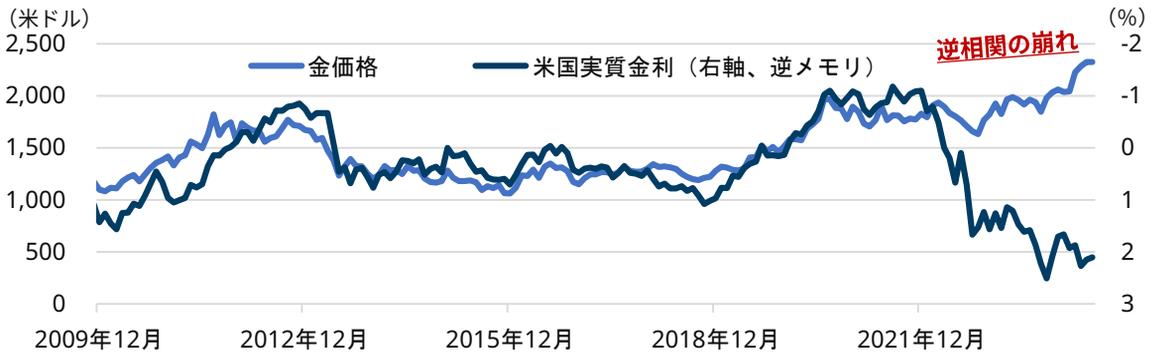
資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。

③ 今後の金相場と当ファンドの運用

- 金は利子が付かないことから、高金利の環境では逆風になると考えられていますが、足元では、近年の経験則に見られない金利との逆相関の関係が崩れ、金の高騰が続いています。

【金現物価格（1トロイオンス当たり）と米国実質金利の推移】

(期間：2009年12月末～2024年6月末、月次)

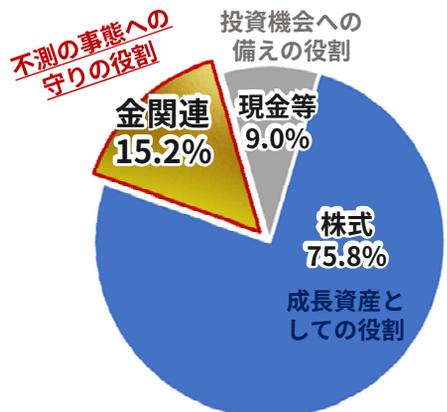


出所：アムンディ・ジャパン株式会社。米国実質金利は米国インフレ連動国債10年を使用。
上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

- 世界各国の中央銀行による金の購入は増加傾向にあります。ロシアや中東、中国を始めとした地政学的リスクの高まりに加え、ウクライナ侵攻への制裁として、米国がロシア中央銀行の米ドル資産を凍結した事実により、いざという時のために実物資産である金を確保しておきたいという各国中央銀行の思惑も感じ取れます。実際に中国人民銀行は2024年4月までの18ヵ月連続で金の保有を増やしており、株式や通貨といった金融資産から、実物そのものが価値を持つ金の存在感がより大きくなっていることがうかがえます。
- 地政学的リスクの高まりに対する安全資産という特性に加えて、金は、実物資産としての特性でも注目されています。膨張する主要国の財政支出は、金融資産である通貨価値の下落リスクに繋がりますが、実物資産である金は、資産そのものに価値があるため、財政支出などの影響を受けにくいと言えます。一方で金融資産には、利子や配当を受け取れるというメリットもありますが、米国が利下げに転じることがあれば、そのメリットが薄れ、相対的に金の優位性が高まる可能性も考えられます。

【ファースト・イーグルAIFの資産配分】

(2024年6月末現在、純資産総額比)



- ファースト・イーグルAIFでは株式への投資に加えて、リスク・コントロールを目的として金関連株式等への投資を行います。金関連株式等は、他の資産が下落している際に元本の保全を助けることが期待される資産クラスであり、高い流動性を有します。
- 金関連株式等への投資は、運用開始以来一貫して行ってきた投資哲学です。金は、原油等とは違い特定の国の信用に依存することはありません。当ファンドでは金関連株式等を利用して、不測の事態への守りの運用を行っています。

・金ETCは金関連株式等に含まれます。
・現金等には短期国債等を含む場合があります。

グラフの比率は、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。資金動向、市況動向等の急変により上記の運用が困難となった場合、上記と異なる運用を行う場合があります。また将来のファンドへの実質的な組入を保証するものではありません。

当資料のご使用に際しては、4ページの「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。

ワールド・バリュー・アロケーション

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）追加型投信/内外/株式

お申込みの際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

ファンドの目的

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式等へ実質的に投資を行い、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

「ワールド・バリュー・アロケーション Aコース（為替ヘッジあり）」、「ワールド・バリュー・アロケーション Bコース（為替ヘッジなし）」を、それぞれ「Aコース」または「ワールドバリューA」、「Bコース」または「ワールドバリューB」と略す場合があります。

ファンドの特色

- ① 米国有数の独立系運用会社ファーストイーグルインベストメントマネジメント社（以下、ファースト・イーグル・インベストメンツ）が運用する「ファースト・イーグル・アムンディ・インターナショナル・ファンド（以下、ファースト・イーグルAIF）」へ主に投資します。
 - 米ドル建のルクセンブルク籍の会社型投資信託「ファースト・イーグルAIF」と円建の国内籍の投資信託である「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」を主要投資対象とします。世界の株式等への投資は「ファースト・イーグルAIF」を通じて行います。
 - 「ファースト・イーグルAIF」の運用は、ファースト・イーグル・インベストメンツのグローバル・バリュー・チームが行います。
- ② 主に割安と判断される世界の株式等に実質的に投資し、米ドルベースで相場環境にかかわらずプラスのリターンを追求することで、投資信託財産の中長期的な成長を目指します。
 - 世界各国（エマージング地域にも投資することがあります。）の株式を対象として、ボトムアップ方式により個別銘柄の調査を行い、PBR等の伝統的なバリュエーション分析のほか、フリーキャッシュフロー等、様々な分析を加え、財務内容を徹底的に分析します。
 - 分析の結果、十分に割安であると判断した銘柄でポートフォリオを構築します。
 - 特定の株価指数にとらわれない運用を行うため、ベンチマークを設定しておりません。
 - 「ファースト・イーグルAIF」において、米ドルベースでのパフォーマンスを向上させるために、現地通貨売り／米ドル買いの為替取引を行うことがあります。
- ③ 原則として円ベースでの為替ヘッジを行うAコース、行わないBコースの間で無手数料でスイッチング[※]が可能です。
 - Aコースにおいては、米ドル建の「ファースト・イーグルAIF」に対して原則として米ドル売り／円買いの為替ヘッジを行うことにより、米ドルと円の為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
 - スwitchingの際には、換金時と同様に、税金がかかりますのでご注意ください。

※ AコースまたはBコースを換金した場合の手取金をもって、その換金の申込受付日に、もう一方のファンドの購入の申込みを行うことをいいます。

◆資金動向および市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。◆

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり幅が小さかった場合も同様です。

投資リスク

ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として世界各国の株式など値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に実質的に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではありません**。ファンドの基準価額の下落により、**損失を被り投資元本を割り込むことがあります**。ファンドの運用による損益はすべて投資者に帰属します。なお、投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因としては、価格変動リスク、流動性リスク、カントリーリスク、為替変動リスク、金利変動リスク、信用リスク等が挙げられます。なお、基準価額の変動要因（投資リスク）は、これらに限定されるものではありません。また、その他の留意点として、ファンドの繰上償還、流動性リスクに関する留意事項等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

《当資料のお取扱いについてのご注意》

■当資料は、アムンディ・ジャパン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。■投資信託は、値動きのある有価証券（外貨建資産には為替変動リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。投資信託の基準価額の下落により、損失を被り投資元本を割り込むことがあります。投資信託の運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。■当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている運用実績等に関するグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。・当資料に記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■投資信託のお取引に関しては、クーリング・オフの適用はありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。

委託会社、その他の関係法人の概要

委託会社	アムンディ・ジャパン株式会社
受託会社	野村信託銀行株式会社
販売会社	野村證券株式会社
ファンドに関する照会先	委託会社の名称:アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン:050-4561-2500 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで ホームページアドレス: https://www.amundi.co.jp/

ワールド・バリュー・アロケーション

Aコース（為替ヘッジあり）／Bコース（為替ヘッジなし）追加型投信/内外/株式

お申込みの際は、投資信託説明書（交付目論見書）でご確認ください。

お申込みメモ

購入単位	各申込コースの購入単位は以下の通りです。 一般コース:1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 自動けいぞく投資コース:1万口以上1口単位または1万円以上1円単位 詳しくは販売会社にお問合せください。(購入後のコース変更はできません。)
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
購入代金	原則として購入申込受付日から起算して7営業日目までにお申込みの販売会社にお支払いください。
換金単位	各申込コースの換金単位は以下の通りです。 一般コース:1口単位または1円単位、自動けいぞく投資コース:1口単位または1円単位
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額とします。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降にお支払いします。
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークもしくはルクセンブルクの銀行休業日のいずれかに該当する場合、または12月24日である場合は、スイッチングを含め受け付けません。
申込締切時間	詳しくは販売会社にお問合せください。
換金制限	1日1件3億円を超える換金のお申込みは受け付けません。また投資信託財産の効率的な運用が妨げられると委託会社が合理的に判断する場合、諸事情により金融商品市場等が閉鎖された場合等一定の場合に換金の制限がかかる場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	委託会社は、金融商品市場における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の申込受付を中止すること、および既に受け付けた購入・換金の申込受付を取消すことができます。
信託期間	2012年7月20日(設定日)から無期限とします。
決算日	年2回決算、原則毎年6月5日および12月5日です。休業日の場合は翌営業日とします。
収益分配	年2回。毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。「自動けいぞく投資コース」は税引後無手数料で再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理動定)」の対象ですが、販売会社により取り扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問合せください。配当控除および益金不算入制度は適用されません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に、販売会社が独自に定める料率を乗じて得た金額とします。有価証券届出書作成日現在の料率上限は、 3.3%(税抜3.0%) です。
信託財産留保額	ありません。

投資者が投資信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	信託報酬の総額は、投資信託財産の純資産総額に対し 年率0.858%(税抜0.78%) を乗じて得た金額とし、ファンドの計算期間を通じて毎日、費用計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間末または信託終了のときに、投資信託財産中から支弁します。また、実質的な負担の上限は、純資産総額に対して 年率1.858%(税込) です。ファンドの信託報酬率0.858%(年率・税込)に主要投資対象とする投資信託証券のうち信託報酬が最大のもの(「ファースト・イーグルAIF」年率1.0%(上限) [*])を加算しております。実際の信託報酬の合計額は主要投資対象とする投資信託証券の組入状況、運用状況によって変動します。※この他に、「ファースト・イーグルAIF」においては成功報酬がかかりますが、運用状況によって変動するためその合計額は記載していません。
--------------	--

●「ファースト・イーグルAIF」の成功報酬について

成功報酬算定期間(毎年9月1日から翌年8月31日まで)において、「ファースト・イーグルAIF」の基準価額(当該日の成功報酬計算前)の収益率が、**SOFR(担保付翌日物調達金利)+4.3%(年率)を上回った場合に、当該超過分に対して15%の成功報酬がかかります。**成功報酬は、日々計上(再計算)されます(値下りの場合は戻し入れされます)。

その他の費用・手数料	その他の費用・手数料として下記の費用等が投資者の負担となり、ファンドから支払われます。 ・有価証券売買時の売買委託手数料および組入資産の保管費用などの諸費用 ・信託事務の処理等に要する諸費用(監査費用、目論見書・運用報告書等の印刷費用、有価証券届出書関連費用等を含みます。) ・投資信託財産に関する租税 等 ※その他、「ファースト・イーグルAIF」においてはルクセンブルクの年次税(年率0.01%)などの諸費用がかかります。 ※その他の費用・手数料の合計額は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。
------------	--

(3745723)

- ◆ファンドの費用の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することはできません。
- ◆ファンドの費用については、有価証券届出書作成日現在の情報であり、今後変更される場合があります。

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求、お申込みは

設定・運用は

NOMURA
野村證券

商号等: 野村證券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第142号
加入協会: 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

Amundi
Investment Solutions

商号等: アムンディ・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第350号
加入協会: 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
日本証券業協会 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当資料のご使用に際しては、4ページの「当資料のお取扱いについてのご注意」をご覧ください。